

北方領土問題の未来新聞

北方領土問題の歴史

① 日魯通好条約(1855年)



まず初めに日本とロシアは
この条約を結び、北方四島は
日本の領土、千島列島は
ロシアの領土、樺太(サハリン)は
両国民の混住の地として
決められました。

② 樺太交換条約(1875年)



この条約で日本は
千島列島を譲り
受けかわりに樺太
全島を放棄しました。
この条約の千島列島
の中は北方四島は含ま
れていません。

③ ポーツマス条約(1905年)



この条約は、五十年の日露
戦争の結果、南樺太が
日本の領土になりました。

④ サンフランシスコ平和条約(1951年)



この条約で、日本は
千島列島と南樺太の
権利権原及び請求権を
放棄しました。
しかし、放棄した千島列島
には、北方四島は含まれて
いません。

以上の歴史を見ても、北方四島は他国の領土となった
ことがないため、**日本固有の領土**である。

北方領土の

今

昔

島根県立
雲南中学校

現在は、北方領土に「なぜなし」で行
くことができないようになり、日本の青年
と北方領土に暮らしているロシアの青年
年との交流が進んでいます。
しかし一方で、ロシアによる開発が進ん
でおり、ゴミの管理や環境汚染など
が問題になっています。
そして北方領土問題を題材にした映画
なども作られています。

ソ連が北方四島を占領し、島民の
方が来た後は、自由に行き来する
ことができなくなりました。
十人に一人を離れた人もすぐに
本土には帰れず、樺太に連れて
行かれ、収容所などに収容されて、
数ヶ月間過ごし、本土に帰りました。
そして、北方領土はソ連軍の人とその
家族が暮らすようになりました。



四島での住民交流会(光るどらんごの制作)



このように、六次産業など
では進んでいますが、返還につ
いてはまだまだ道のりは長い
です。早期返還を実現す
るために、誰か一人でも多く
この問題のことを知り、後世
へ伝えたいことを大切だと
思います。

まとめ